芦屋市教育振興基本計画の骨子（案）（概要）

１　教育を取り巻く背景（時代の潮流）

①質的な充実を求める社会への移行
②雇用形態の多様化
③少子化・高齢化・核家族化の進行
④知識基盤社会の到来と高度情報化の進展
⑤国際化の進展

２　（国）教育振興計画（平成２０年７月）

今後５年間に総合的かつ計画的に取り組むべき施策

＜基本的考え方＞
教育に関する政策を横断的に捉え直し，その総合的な推進を図る。その際，各施策を通じてＰＤＣＡサイクルを重視し，より効率的で効果的な教育の実現を目指す。

（取組全体を通じて重視する考え方）
①「横」の連携：教育に対する社会全体の連携の強化
②「縦」の接続：一貫した理念に基づく生涯学習社会の実現
③国・地方それぞれの役割の明確化

＜施策の基本的方向＞
基本的方向１：社会全体で教育の向上に取り組む
基本的方向２：個性を尊重しつつ能力を伸ばし，個人として，社会の一員として生きる基盤を育てる
基本的方向３：教養と専門性を備えた知性豊かな人間を養成し，社会の発展を支える
基本的方向４：子どもたちの安全・安心を確保するとともに，質の高い教育環境を整備する

３　ひょうご教育創造プラン（兵庫県教育基本計画）（平成２１年６月）

【理念】　元気兵庫へ　こころ豊かな人づくり
－県民すべてがかかわる兵庫の教育の実現－

1）自立的に生きる力を培い，創造性を伸ばす教育に取り組みます
2）「体験教育」をはじめ兵庫の特色ある教育を推進します
3）子どもたちの学びを支えるため，学校・家庭・地域が一体となって取り組みます
4）子どもたちが安心して学べる環境づくり，信頼される学校づくりを進めます
5）新しい時代を担う人材育成や高度な研究を充実し，地域とともに歩む高等教育を推進します
6）県民だれもが生きがいをもって地域社会に参画する生涯学習社会づくりを推進します

４　芦屋の教育に関する現状・課題

（１）個性と能力を伸ばす教育について

○学習指導員（チューター）の増員
○芦屋市特別支援教育センターの設置運営
○子ども読書の街づくり推進事業の実施
○児童，生徒の言語活動を重視した授業づくりが必要
●学習状況調査結果の分析、活用する力に課題
●特別支援教育の個に応じた指導の充実が必要

（２）信頼される学校園について

○学校関係者評価を活用した学校評価システムの定着
○教職員の事務の効率化による作業の負担軽減
○公立のゆとり教育・学力低下への不安
●公立学校の魅力ある学校・授業づくりが必要
●教職員の人材確保と育成が必要
●幼保小の連携推進，子育て支援の強化が必要
●子どもと向き合う時間を十分に確保することが必要

（３）豊かな心を育む教育について

○「トライやる・ウイーク」等の事業を活用
○道徳教育による子どもの規範意識の向上
○外国人児童生徒への対応の充実
●基本的生活習慣の確立が必要
●学校単独で対応できない問題事案の対応として関係機関の連携強化が必要
●適応教室の活動強化等の取組が必要
●小学生段階も含めてキャリア教育の視点が必要

（４）厳しさに耐える心と体を育てる教育について

○芦屋の子どもたちは優しくデリケート
●体力・運動能力の強化に向けた指導方法の検討が必要
●日常全体の中で健やかな体を育成していく取組が必要
●心と体の健全な発達を目指す健康教育の充実が必要

（５）安全・安心な教育環境について

○学校園の耐震化や全小中学校の普通教室の空調化
○青色回転灯パトロール車による子ども見守りパトロールの実施
○児童及び教職員・保護者を対象とした CAP 講習会の実施
●老朽化した校舎建替えを含めた施設整備が必要
●地域をあげて子どもを守る防犯意識の向上が必要

（６）まちづくりのための生涯学習について

○芦屋市生涯学習出前講座の実施
○「芦屋の社会教育」の作成による情報提供
○自治会や老人会，子ども会，コミュニティ・スクールなどのコミュニティ組織の積極的な活動
●地域を学ぶ機会や地域の情報発信の充実が必要

（７）「いつでも」「どこでも」「だれでも」学習することができる学習環境について

○年間を通して公民館活動を実施
○身近な既存施設を活用し学習機会を提供
○インターネットを活用した社会教育施設利用の手続きや情報提供の実施
●すべての生涯の各期における適切な学習機会の提供が必要
●学習資源のネットワーク化が必要
●広報紙や機関紙，ホームページの有効活用が必要
●社会教育施設の管理運営形態を検討していくことが必要

（８）地域の教育力の向上のための人材育成について

○市民ギャラリーや市民ステージ，市民絵画展を実施
○60 歳以上の市民を対象に高齢者大学を開校
●市民活動センターや福祉センターと連携が図れる体制の整備が必要
●地域人材の確保についてシステムの構築が必要
●各個人が学習した成果を地域社会における様々な教育活動に活かす仕組みが必要

（９）文化・スポーツ活動に対する支援について

○ルナ・ホール事業を通じて，音楽コンサート，落語，映画等の芸術を鑑賞する機会を提供
●個性豊かな市民文化が育っていくような環境づくりが必要
●市民がいつでもどこでも気楽にスポーツやレクリエーションを楽しむことができる環境づくりの推進が必要

○：現状、●：課題

５　芦屋市教育振興基本計画

１　「豊かな人間力」をはぐくみ，個性と創造性を伸ばす教育に取り組みます

○学力向上方策の充実を図り，「確かな学力」の確立に取り組みます。
○情報教育や国際化に対応した教育など，今日的な課題に対応した教育を推進します
○人間形成の基礎となる道徳性など「豊かな心」の育成に取り組みます。
○体育・スポーツ活動や健康教育・食育を推進し，「健やかな体」の育成に取り組みます。

２　命と人権を大切にする教育の充実に取り組みます

○自らの命を守る安全教育に加え，震災の教訓を生かし，語り継ぐ芦屋の防災教育を推進します。
○人権尊重の理念に基づく「共生」の心をはぐくむ教育に取り組みます。
○いじめ，不登校等の課題に適切に対応するため，子どもたちの「心」を支えるシステムの充実に取り組みます。

３　信頼され魅力ある学校づくりに取り組みます

○教員の資質・実践的指導力の向上をめざし，教員研修の充実を図ります。
○教員が子どもと向き合う時間を確保します。
○快適で魅力ある学習環境を整えます。
○小中間の新たな連携システムを構築します。
○「開かれた学校づくり」を進めます。

４　学校園・家庭・地域社会が連携して，子どもたちの育成を支えます

○地域社会が一体となって子どもたちの育成を支えるため，自治会，コミュニティ・スクール，ＰＴＡ代表などをはじめとする諸団体をネットワークで結ぶ仕組みづくりを拡充します。
○子どもたちの安全・安心な活動拠点として，放課後や週末などの学校を活用し，地域の人々の参画を促し，学習やスポーツ・文化活動，地域住民との交流活動などを提供します。
○家庭の教育力については，ＰＴＣＡ活動等の活性化支援をとおして，子育ての不安低減を目指すとともに，各家庭における家庭内教育の重要性の浸透を図ります。

５　「いつでも，どこでも，だれでも」参画できる生涯学習社会づくりを推進します

○生涯学習基盤の整備・拡充を図ります。
○社会教育と学校教育との連携を拡充します。